

令和7年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 黒崎中 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和7年4月17日(木)に、「教科(国語、数学に関する調査)」、文部科学省が指定した日(4月14日から4月17日の間)に「教科(理科に関する調査)」、「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

教科に関する調査(国語、数学、理科)

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問調査

生徒質問調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

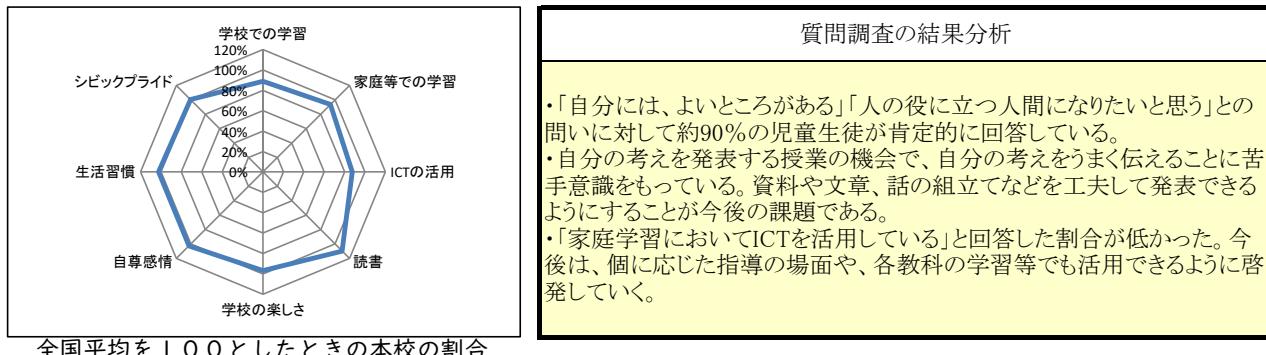
(1) 全国・本市の学力調査(国語、数学、理科)の結果

本年度の結果	国語		数学		理科
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均IRTスコア
本市	7.4	53	6.7	45	492
全国	7.6	54	7.2	48	503

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の内容「書くこと」「話すこと」に関する問題は、全国平均および福岡県の平均を上回っています。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	聞き手の反応を見て発した言葉について、適切なものを選択する問題に関する正答率が高くなっています。	上回っている
	努力が必要な問題	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることについて課題が見られます。	
数学	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の内容「数と式」「图形」「関数」「データの活用」に関する問題は、全国平均および福岡県の平均を上回っています。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる問題に関する正答率が高くなっています。	上回っている
	努力が必要な問題	素数の意味の理解について課題が見られます。	
理科	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の内容「生命」「地球」に関する問題は、全国平均および福岡県の平均を上回っています。	全国平均正答率との比較
	よくできた問題	探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連に対する問題の正答率が高くなっています。	上回っている
	努力が必要な問題	元素を記号で表すことに関する知識及び技能について課題が見られます。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

授業では、積極的に発表ができるように資料の準備や発表までの手順等を示しています。また、ワークやプリントなどを併用し、学習した内容の定着を図るために働きかけを行っています。

② 家庭生活習慣等に関する取組

定期考査前には、学習計画表を活用し、見通しをもって学習に取り組むことができるよう呼びかけを行っています。また、家庭学習で、学習した内容を復習できるように課題を継続して配布しています。